

JR連合第17回 業種間安全検討会 電力総連と開催



電力総連
会長代理 大森様

11月26日、都内において、JR連合安全対策委員会(貨物鉄産労からは辻村委員長が出席)は、今後の安全確立に向けた取り組みを活かすため、電力総連と業種間安全検討会を開催し意見交換を行いました。

電力総連大森様からは、「感電や墜落が発生しており、安全確立に向けた取り組みを真摯に学んでいきたい」と述べられ、JR連合上村会長は、「JR産業において死亡労災が続いており、また、重大事象も続いていることから、意見交換を通じて安全確立に向けた取り組みを取り入れていきたい」と述べられました。

続いて、電力総連・JR連合、双方より安全に関する取り組みを紹介したのち、意見交換に入り、安全確立の取り組みには何が必要か、何が足りないのか、現場ではどのような意見が出ているのか等々を話し合い、また、メンタルヘルスや熱中症対策についても議論を進め、大変貴重で有意義な意見交換を行いました。



JR連合 上村会長



翌日は、東京都日野市にある、東京電力HD安全考動センターに出向き、安全確立に向けた取り組みを学びました。

電気は目に見えません。感電は重大な事故につながるため、最善の注意を払って作業するようお願い致します。